

はじめに

本調査は、「学習したことがしっかりと身に付いているのか」という今までの調査の視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という新たな視点を加えた全国で初めての調査です。小学校4年生から中学校3年生まで、児童生徒一人一人の学力を継続して把握することで、子供たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。

昨年4月に第1回目を実施し、本年4月に第2回目となる調査を実施したことで、初めて、「学力の伸び」を把握することができました。その調査結果を、7月に市町村教育委員会及び各学校へ送付しました。市町村教育委員会及び各学校におかれましては、児童生徒一人一人の学力の状況に応じたきめ細かな指導や、調査結果を独自に分析し、その分析を踏まえた仮説を立て、改善策が展開されていることと存じます。

本報告書では、調査結果の概要として、県全体の学力や「学力の伸び」の状況などを掲載するとともに、子供たちの学力をさらに伸ばし、指導上の課題を解決するための「指導改善のポイント」を示しております。併せて、「質問紙調査の分析」や、調査結果を活用する学校の様子なども記載しております。

これらのデータや記載内容は、調査の対象学年や該当教科はもちろんのこと、全ての学年や教科の指導に活用したり、研修の資料や講話等の話題にしたりするなど多面的に活用できるものです。

さらに、紙幅の都合上、紹介できなかった指導事例や詳細なデータは、県教育委員会ホームページに示しておりますので、こちらについても、ぜひお役立てください。

市町村教育委員会及び各学校におかれましては、この調査から導き出された有効な指導方法などを共有財産とし、一人一人の児童生徒の学力を伸ばすための指導改善に努めていただきますようお願いいたします。

平成28年11月

埼玉県教育委員会教育長 関根 郁夫